

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00177065

2023年11月20日

発信課	観光スポーツ交流部観光課
担当者	浅田 秀穂
連絡先	電話 25-7168
	FAX 26-8585
	E-mail kankou@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 [] 募集 [] 契約・入札 [] 会議・説明会 [] その他 [○]
日程	令和5年11月20日
発表項目 (行事名)	令和5年度上期観光入込客数等について
概要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>1 趣旨 毎年集計している旭川市への観光入込客数等について、令和5年4月から令和5年9月までの調査結果をまとめたため報告する。</p> <p>2 観光入込客数調査 観光入込客数や観光客の動向を把握し、魅力ある観光地づくりや観光客の誘致など、観光振興施策を推進するための基礎資料とすることを目的として実施する調査。</p> <p>3 調査結果概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年5月に新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類に引き下げられたことで、国内外の人流が増加したことから、前年度同期比で観光入込客数は122.3%、宿泊延数は127.5%と増加となった。 ・令和元年度同期比でも入込客数95.9%、宿泊延数84.9%と、いずれもコロナ禍以前の水準まで回復しつつある。 ・外国人観光客についても、令和元年度同期比の外国人宿泊延数は53.9%とコロナ禍以前の水準には達していない状況だが、前年度同期比で8,233%と大幅増加するなど、インバウンドの回復が顕著に見られ、今後に期待ができる結果となった。
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道（取材）に当たってのお願い	
備考	

令和5年度上期観光入込客数等について

1 観光入込客数

3,102,100人（前年同期比 122.3%）

- ・令和4年同期 2,535,500人（前年同期比 298.4%）
- ・令和3年同期 849,800人（前年同期比 74.6%）
- ・令和2年同期 1,139,600人（前年同期比 35.2%）
- ・令和元年同期 3,236,400人（前年同期比 103.9%）

2 宿泊延数

466,500泊（前年同期比 127.5%）

- ・令和4年同期 365,900泊（前年同期比 204.3%）
- ・令和3年同期 179,100泊（前年同期比 87.5%）
- ・令和2年同期 204,800泊（前年同期比 37.3%）
- ・令和元年同期 549,600泊（前年同期比 101.3%）

3 外国人宿泊延数

74,115泊（前年同期比 8,233.3%）

- ・令和4年度同期 945泊（前年同期比 191.3%）
- ・令和3年度同期 494泊（前年同期比 72.0%）
- ・令和2年度同期 686泊（前年同期比 0.5%）
- ・令和元年度同期 135,957泊（前年同期比 99.5%）

4 月別内訳

（単位：千人）

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
観光入込客数	R5	100.5	323.9	599.3	704.6	655.1	718.7	3102.1
	R4	52.1	263.2	429.7	576.1	530.4	684	2535.5
	対前年(R5/R4)	192.9%	123.1%	139.5%	122.3%	123.5%	105.1%	122.3%
宿泊延数	R5	31.3	58.6	75.5	113.4	109.7	78	466.5
	R4	30.3	47.3	50.2	82.9	89.7	65.5	365.9
	対前年(R5/R4)	103.3%	123.9%	150.4%	136.8%	122.3%	119.1%	127.5%
外国人宿泊延数	R5	4.9	9.8	13.4	19.6	16.1	10.3	74.1
	R4	0	0	0.1	0.3	0.3	0.2	0.9
	対前年(R5/R4)	-	-	13400%	6533%	5367%	5150%	8233.3%

5 特徴

令和5年度上期は、本年5月に新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類に引き下げられたことで、国内外の人流が増加したことから、前年度同期比で観光入込客数は122.3%、宿泊延数は127.5%と増加となった。

また、令和元年度同期比でも入込客数95.9%、宿泊延数84.9%と、いずれもコロナ禍以前の水準まで回復しつつある。

外国人観光客についても、令和元年度同期比の外国人宿泊延数は53.9%とコロナ禍以前の水準には達していない状況だが、前年度同期比で8,233%と大幅増加するなど、インバウンドの回復が顕著に見られ、今後に期待ができる結果となった。